

令和 6 年第 2 回山武郡市広域行政組合教育委員会会議定例会会議録

日 時	令和 6 年 9 月 2 6 日 (木) 1 5 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0
場 所	振興センター 第 2 会議室
出席委員	石川貢彦教育長、深田義之、鈴木弘、内田淳一、 實川睦子、五木田啓一、炭田弥奈子
欠席委員	なし
事務局	事務局長 鈴木伸一、教育支援課長 石井圭次、 副主査 鈴木まなみ、教育相談指導員 中村幸子
報告事項	(1)山武郡市広域行政組合業務について (2)令和 6 年第 2 回山武郡市視聴覚教材センター運営委員会及び 山武郡市教育相談センター運営委員会合同会議について (3)令和 6 年度山武郡市視聴覚教材センター上半期事業報告につ いて (4)令和 6 年度山武郡市教育相談センター上半期事業報告につ いて
協議事項	(1)令和 7 年度山武郡市視聴覚教材センター事業（案）について (2)令和 7 年度山武郡市教育相談センター事業（案）について (3)山武郡市広域行政組合教育委員会会議規則の一部改正につ いて
その他	(1)ハートフルさんぶ山武教室移転・運營業務委託について (2)ハートフルさんぶ東金教室移転について
【石井課長】 まず始めに、令和 6 年 8 月 2 2 日に開催されました、当組 合議会定例会において御承認をいただきました人事案件につ きまして、事務局より御報告をさせていただきます。令和 6 年 8 月 3 1 日をもって任期満了となりました實川睦子氏の後 任委員につきまして、横芝光町から推薦がありました實川睦 子氏を引き続き任命することについて、議会の同意を求めた ところ承認いただきました。任期は令和 6 年 9 月 1 日から令 和 1 0 年 8 月 3 1 日まででございます。 同様に、令和 6 年 8 月 3 1 日をもって任期満了となりまし た伊藤梨絵氏の後任委員につきまして、大網白里市から推薦 がありました炭田弥奈子氏を任命することについて、議会の 同意を求めたところ承認いただきました。任期は令和 6 年 9 月 1 日から令和 1 0 年 8 月 3 1 日まででございます。 ではここで、實川委員及び炭田委員から御挨拶をいただき ます。よろしくお願いします。	

(委員挨拶)

人事案件の報告は以上です。

【事務局】(出席委員数確認・会議資料確認)

教育長には議長をお願いいたします。議長席に移動していただき開会の宣言をお願いします。

【議長】(開会宣言)

ただいまより、令和6年第2回山武郡市広域行政組合教育委員会会議定例会を開会します。

まず、会議録署名人の指名になりますが、山武郡市広域行政組合教育委員会会議規則第16条第3項の規定により、委員1名を指名する必要があります。本会議の署名人は、實川委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。本日は報告事項4点、協議事項3点、その他2点になります。この会議の円滑な進行に、御協力くださいますようお願いいたします。なお、会議録につきましては、会議規則第16条第4項の規定により、組合ホームページへ公表させていただきます。

《報告事項》

(1)山武郡市広域行政組合業務について

(鈴木事務局長より説明)

【議長】 報告事項(1)山武郡市広域行政組合業務について

【深田委員】 議案第2号について、養護老人ホームの入所者が年々減少しているとのことですが、存続していかななくてはならない施設なのでしょうか。

【事務局長】 私どもとしては存続をしていきたいという考えではありますが、負担金が年間8千万円から9千万円くらいかかってしまうところで、市町では縮小あるいは廃止のお話も多少出はおります。ただ、今年度空調設備の工事を行いまして、成田国際空港株式会社から補助金が出ております。補助金を受けるために今後10年は続けていただきたいとのことで、金額は2億円超えですので、出来れば10年間は続けていきたいと思っております。入所定員が100名のところ、現在48名というところで半数を切っております。措置入所ですと、市町で措置費としてお金がかかってしまいますので、市町としては入所させるよりは介護保険等を使って自宅等で過ごしていただいた方がよいという考え方があります。入所者を増やすことはなかなか難しい状況にありまして、今回契約入所という形をとって、現在自宅等で住まわれている方で、

一人暮らしが心配な方を入れていこうという考え方があり、そのために条例を改正させていただいて、入所者を増やしていき、あと10年はもたせていこうと考えております。

【深田委員】 公の施設としてこういう施設を作らなくてはならないという制約はあったのでしょうか。

【事務局長】 特にはございませんが、もともと横芝町にありました救護院が養護老人ホームになり、町で単独で運営するよりは、広域で運営した方が良いのではないかとということで、私どもの業務になりました。

【深田委員】 特に制約はなく、民間が増えているというところで、もたせていくというところでしょうか。

【事務局長】 民間でも養護老人ホームは少ないです。どんどん閉鎖している方向です。特別養護老人ホームという介護保険適用の施設は非常に増えてきております。横芝光町にはもう1箇所老人ホームがありまして、もともとは光町にありました私立の養護老人ホームです。私どもは横芝町にあった公立の老人ホームで、同町の中に2箇所あるという状況です。私どもの施設は、平成7年の建物であり、老朽化が激しくなっています。一方、もう1箇所は建て直しをされ比較的新しい施設で人気があります。そちらでも契約入所という形で入所しているとのことで、同じく措置入所で厳しい部分は、契約入所で補っているとのことです。私どもも少しでも補えればという考えで提案させていただきました。

【五木田委員】 この養護老人ホームは補助金が出ているというお話ですが、この補助金は空港周辺地域への交付金でしょうか。それとも特別な交付金でしょうか。2億円という金額は何年間ででしょうか。

【事務局長】 今回の空調設備に係る費用は、教育施設等騒音防止対策事業助成金からのものです。

(2) 令和6年第2回山武郡市視聴覚教材センター運営委員会及び山武郡市教育相談センター運営委員会合同会議について

(石井課長より説明)

【議長】 報告事項(2) 令和6年第2回山武郡市視聴覚教材センター運営委員会及び山武郡市教育相談センター運営委員会合同会議について、何かご質問ありませんか。

【委員】 (なしの声あり)

(3) 令和6年度山武郡市視聴覚教材センター上半期事業報告について

(鈴木より説明)

【深田委員】 貸出しの多くは社会教育団体とのことですが、貸出しの内容を教えてください。

【鈴木】 主に機材の貸出しが多く、プロジェクターやスクリーンです。

【深田委員】 DVDの貸出しはありませんか。

【鈴木】 防災教材として地震について子ども会等で上映したりするなどの貸出しはあります。

【内田委員】 社会教育団体以外の学校への貸出しはプログラミング関係が多いということですが、全体の貸出数は減少しているということでしょうか。

【鈴木】 はい。

(4)令和6年度山武郡市教育相談センター上半期事業報告について

(中村教育相談指導員より説明)

【深田委員】 各年度別の相談実績はわかったのですが、同じ方が相談されることはありますか。

【中村】 人数までは把握していないのですが、こちらで管理している予約ノートがありまして、昨年度のノートにある同じ名前の方が今年も予約をされているということが多いです。相談された子全てがハートフルに通級しているわけではなく、相談のみカウンセラーと繋がっている子もいますし、小中学生で相談を受けていた子が高校生になってまた相談をする場合もあります。小学校6年生、中学校3年生、高校3年生と区切りの所で相談される子が多いです。

【五木田委員】 昨年度、千葉県教育委員会が実施した不登校児童生徒・保護者を対象としたアンケート調査の中で、フリースクールの関係者が積極的な対応をされている実績がありまして、フリースクールも行政機関と繋がりたい、関係機関と連携したいという意見が多かったのですが、こちらではそのようなコンタクトはありますか。

【中村】 今のところはありません。ただ、保護者の中で、子どもの課題によってはハートフルに通うことが厳しいということでフリースクール等ありませんかといった問い合わせはありました。

【實川委員】 横芝光町で「ありのまま」というNPO法人が立ち上げたフリースクールがありまして、横芝光町だけではなく、山武市、東金市からも何名か通っているようで、積極的に行政と

関わりたいとの声は聞こえていますので、今後、そういったお話があるかもしれません。山武市でもフリースクールがありコミュニケーションは取っているようで活動の様子が掲載されています。会議資料15頁ハートフルさんぶ利用状況の推移で全体の数を見ますと、令和4年度79名、令和5年度71名、令和6年度53名と人数的には減っていますが、指導員20名ということで、業務的にはどうでしょうか。人数的に足りているのでしょうか。

【中 村】 各教室では、1日2名体制で指導員を配置しております。横芝光町教室ですと、5名の指導員が日替わりで2名ずつシフトを組んでいる形です。やはり、同じ時間帯に10名以上通級しますと2名体制では大変かなと思いますが、未だそのような状況には至っておりません。東金教室や山武教室は比較的多く、1日に7、8人おりますが、今のところ2名での対応は可能です。

【實川委員】 シフトは教室ごとに決めているのですか。

【中 村】 本人の希望になります。2日勤務の方、1日勤務の方等おりますので、こちらでシフトを組んでおります。

【實川委員】 1日に何人通級するかわからないわけですから、その辺りの対応が気になりました。

【中 村】 朝から通級する生徒ばかりではなく、時間差で入れ替わったりしていますので対応可能です。

【深田委員】 本来各市町教育委員会が把握しなくてはならないのですが、学校に来ていない子たちの把握はしていますか。

【中 村】 市町の長欠会議に出席した際に、それぞれの学校で何人くらいの長欠児童生徒がいますといったお話は聞きます。その分とハートフルに通っている子を比べてみますと少ないかなと感じておりますので、上手くハートフルに繋がれたらと思います。こちらには通っていないけれどもNPO法人のフリースクール等に通っているのかもしれないのですが、はっきりとした実態は把握できておりません。

【深田委員】 わかりました。基本的には各市町で把握するしかないですね。

《協議事項》

(1)令和7年度山武郡市視聴覚教材センター事業（案）について

（鈴木より説明）

【内田委員】 意見としまして、例年貸出しも減ってきているということ

は毎回お話されていて、主に社会教育団体への貸出しが中心になってきているということ、学校教育ですとプログラミング教材の貸出しということを含めると、広域行政でどこまで面倒みるのかと正直理解しがたい状況です。貴重な財源ですから見直しをしていただいて、必要なところに財源を使っていただいた方が良いのではないかと感じます。研修についても山武郡市全体をみて何かテーマを決めて実施することは大まかなテーマになってしまいますので、難しいのかなという気がします。学校ですと教科ごとに研修を行っておりますので、広域行政として何をすべきか整理をしていただき、視聴覚教材センター事業はもっと縮小できるのではないかと感じます。山武市でも長欠不登校の児童生徒がおり、大きな課題がありますので、そちらの方に財源を移行する等、何かできないかなと感じます。

【石井課長】 視聴覚教材センターの予算としましては、フィルムやビデオテープを廃棄処分した関係で教材としてはDVDの貸出しが一つであり、それよりもセンターとしては子どもたちのプログラミング教育の現在保有している教材を積極的に活用してもらいたいということでICT教育にウエイトをおいて移行していきたいという考えであります。ただ、どのように活用したら良いのかなというところでしたが、昨年度から徐々に貸出し件数も増えてきている部分でもありますので、研修に関しても学校に貸出しているものをこうやって活用して授業実践の中で使用しているよといった研修を、今年度いくつかの学校で実践としていただけるよう進めているところであります。内田委員からご意見がありましたように、センター事業の見直しとして整理・縮小といった時に、新しい教材・機材の購入はしていない状況で、今保有しているものをどのように活用していこうかというところで運営しておりますので、必要とされているものを有効活用していき、縮小していくということは、業務を廃止するということで、現状まだ貸出しがある以上は廃止出来ない状況下にあります。例えば貸出業務を他に移行する等今後の課題ではあります。センター事業を広げていこうといった考えで運営はしておりません。なぜならば、予算も確保出来ていない状況ですので、今保有しているものを有効活用していただく部分の推進に努めております。

【五木田委員】 視聴覚教材センターは、もともと社会教育の範囲で、以前教材選定は、各市町の社会教育団体の担当者や子ども会、青少年相談員の方々が行っておりました。各市町の負担金について、芝山町は社会教育費から支出しております。他の市町はどうでしょうか。教育相談は、学校教育費から、視聴覚教材は社会教育費だと思いますので、確認してください。

【議長】 後ほど各市町で確認しておいてください。

【内田委員】 プログラミング教材は、学校も使用すればプログラミングを学んだという気持ちになって良い時間を過ごせるのですが教科の中でプログラミング的思考を行っていかないと、その時間学んで楽しかったねと、それが次の学年に繋がっていかず、5年生が学んでいる内容と3年生が学んでいる内容が同じだったりするわけです。教科の学習はその学年で学んだことが次の学年に活かされて上達論があるわけですから、教材を使って将来学ぶものがあるのかなと思いますので、今あるものを維持することが良いことなのかというところが疑問に思います。

【石井課長】 教科の部分ですと、当センターで保有している中で、マイクロビットという教材を多数保有しております。これが6年生の理科で実際に教科書に掲載されています。昨年度も一番利用が多い教材です。ただ、その他の3種類の教材については、教科書には掲載されておきませんので疑問はあるかと思いますが、各学校の要望を取りまとめ、教材選定会議を開き選定委員の声があつての購入ですので、要望は上がったが、どれだけの利用が見込まれていたのかなというところが課題ではあります。

【深田委員】 会議資料17頁の研修事業の目的「山武地域の学校教育で求められている情報・視聴覚教育の技能や知識についてニーズを把握し、必要とされる研修講座を実施する」とありますが、現段階でニーズの把握はしているのでしょうか。

【石井課長】 今年度に関しては、アンケート等で調査はしておりませんので、ニーズの把握は十分には出来ておりません。

【深田委員】 その辺りが明確になってきますと、やるべき姿が見えてくるのではないかなと思います。マイクロビットは30個あってどれくらいの金額でしょうか。

【鈴木】 16万5千円です。

【議長】 それでは、お諮りいたします。本件は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

【委員】 （異議なしの声）

【議長】 異議ないものと認め、本件は原案のとおり決定いたします。

(2)令和7年度山武郡市教育相談センター事業（案）について

（中村教育相談指導員より説明）

【内田委員】 「通級」という言葉が歴史的に使われてきておりますが、この言葉は別の制度でも使われている言葉で、「通級的な指導」とハートフルの「通級」は全く異なるわけですが、同じ言葉で引っ掛かりますので事務局で検討していただければと思います。

【石井課長】 規則等にも定められておりますので、検討させていただきます。

【深田委員】 運営方針の中で「社会的自立に向けた支援を行う」とありますが、このご時世でこのようか言い方でよろしいのでしょうか。

【中村】 以前は「適応指導教室」ということで、「学校への復帰に向けた支援」という言葉を明記しておりましたが、学校へ復帰するだけが目的ではなく、社会に出られるようにという意味でこちらの言葉を使用しており、学校に復帰できる子もいますし、外に出ることが目的な子もいますのでこのような明記としております。

【實川委員】 18頁のハートフルさんぶ事業の内容の中で、「月曜日から金曜日までの午前9時から午後3時まで」の開設となっておりますが、横芝光町町民会館は、教育委員会がありますので早い時間から開いております。通級している子が9時ではなく、8時過ぎに保護者の方とホールで待っている状況です。他の教室はどのような状況か教えてください。また、午後は3時までとなっておりますが、お迎え等の関係でどうしても遅くなってしまうといったことがありまして、指導員の方の勤務時間は何時までですか。

【中村】 午後4時までです。

【實川委員】 他の教室の鍵の管理はどのようにされていますか。

【中村】 それぞれ指導員が鍵を持っておりますので、戸締りはしていただいています。朝も9時からですよということは面談でも周知はしておりますが、保護者の仕事の都合で早くに送り届けたりする子はいらっしゃいますので、10分前には指導員も

来てはおりますが、あまり早いと教室は開いておりませんので恐らくお待たせしていると思います。

【議長】 それでは、お諮りいたします。本件は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

【委員】 （異議なしの声）

【議長】 異議ないものと認め、本件は原案のとおり決定いたします。

(3)山武郡市広域行政組合教育委員会会議規則の一部改正について

（石井課長より説明）

【議長】 協議事項(3) 山武郡市広域行政組合教育委員会会議規則の一部改正について、何かご質問ありませんか。

【委員】 （なしの声あり）

【議長】 それでは、お諮りいたします。本件は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

【委員】 （異議なしの声）

【議長】 異議ないものと認め、本件は原案のとおり決定いたします。

《その他》

(1)ハートフルさんぶ山武教室移転・運營業務委託について

（石井課長より説明）

【内田委員】 令和7年度から業務委託をする際に、業務がスムーズに引き継がれるようにということと、ハートフルさんぶでは市町の子どもたちを丁寧に見てくださっているので、大きく変わってしまうことがないようにお願いしたいと思っております。指導員の方も変わられると思いますので、ハートフルさんぶの役割を果たしていただきたいなと思います。また、色々な関係機関がありますが、不登校対策の拠点になっていただけると有難いなと思います。

【石井課長】 業務委託に関しましては、指導員も変わりますので、センターとしても懸念しているところではありますが、G A Aの行っている業務を4月からお願いするわけではございません。ハートフルさんぶはこのような進めてきてますというところを、実際の業務を見ていただいて、残りの半年の間で丁寧に引き継いで参ります。

(2)ハートフルさんぶ東金教室移転について

（石井課長より説明）

【深田委員】 およそどのくらいの予算になりますか。

【石井課長】 山武教室につきましては、今年度の山武教室の運営費は590万円くらいです。来年度わくわく館での運営になります

ので、契約上では597万円で見込んでおります。プラス7万円につきましては、通信環境の部分になります。東金教室につきましては、現在東金市の運営費が、光熱水費や通信運搬費、別棟負担金という形でお支払いをしております。人件費以外で60万5千円になりますが、来年度運営費につきましては、57万1千円くらいです。施設の費用につきましては、東金市と按分していただいて、限りなく今年度並みに収めたいというところですが、空調設備工事の関係につきましては、金額も整っておりません。その部分は上乘せになるかと思いますので、各構成市町の負担金に関しての増額はやむを得ないかなと思います。後ほど、構成市町へご説明に伺う予定です。

【實川委員】 横芝光町の教室につきまして、開設した当時から善意ということで一切運営費はいただいております。現在、光熱水費については、冷暖房、電気、学習室についても専属でお貸ししております。学習室の貸料金についてもどのような経緯で善意としていたのかわかりませんが、負担はありますので、2教室の移転もあり予算もかかるとは思いますが、横芝光町教室につきましても、運営費等検討していただけると有難いです。

【石井課長】 実は、当センターから9月11日付けで社会文化課長宛てで来年度の予算編成について、横芝光町の教室運営に当たりどのようにお考えですかというような形で文書を出しており、9月末までにご回答いただくことになっております。

【議長】 東金教室の移転に関して、一番の課題は予算の確保と考えます。これまでの考え方は、施設はハートフルが使用するのだから、行政組合が予算すべきというものです。本来であれば、それぞれの市町がそれぞれ運営することがベースであり、東金教室であれば東金市がお金を出すことは当然であると考えています。他の市町においても同じように考えていただけたら有難いです。不登校の子どもたちは、自分の市町に通えないから他の市町に通うことも可能だよということで、広域的な共同処理としたものととらえています。このことから、どの市町もそれぞれが負担をして、無償で存続させることが大事なことだと思います。ぜひとも、各市町で財政当局と協議していただけたらと考えております。

【議長】 そのほか何かございますか。

- 【炭田委員】 カウンセラー3名、指導員20名とのことですが、指導員になるためには、どのような経歴をお持ちの方でしょうか。
- 【中 村】 カウンセラーは資格が必要ですが、指導員に関しましては、教職員の資格がある方または教育関係でお勤めされていた方として学童保育の指導員等子どもと関わる仕事をしていた方でしたら、教員免許がなくても可能です。指導員の多くは教員の退職者です。
- 【議長】 これをもちまして、令和6年第2回山武郡市広域行政組合教育委員会会議定例会を閉会いたします。

午後5時00分 教育長、閉会を宣した。

以上、会議の経過を記載して相違ないことを認めるためにここに署名する。

山武郡市広域行政組合教育委員会

教育長

石川貢彦

委員

實川睦子